令和６年度　第２回企画展示

第二十三振武隊員が遺したもの

展示期間　令和７年２月１５日（土）から
令和７年５月１８日（日）まで
※休館日を除く
開館時間　午前９時から午後４時３０分まで
入場料　無料

桶川飛行学校平和祈念館
〒363-0027
埼玉県桶川市大字川田谷2335番地の16
電話：048-778-8512
Mail：hikogakko@city.okegawa.lg.jp
○電車でお越しの場合
JR高崎線桶川駅西口より東武バス「川越駅行き」乗車→「柏原」バス停下車　徒歩５分
○車でお越しの場合：桶川北本ICより車で１０分
県道12号線太郎右衛門橋の側道へ入る。

Ⅰ. 清水保三氏　入隊前の生活

第二十三振武隊は、桶川分教場にて教官を務めた伍井（いつい）芳夫（よしお）氏が隊長となった特別攻撃隊です。

第二十三振武隊隊員の一人である清水保三氏（しみずやすぞう）については、その手記や写真が遺族のもとに残っています。

清水保三氏は1921（大正10）年滋賀県高島郡新儀村に農家の三男として生まれます。高等小学校を卒業後は滋賀銀行に勤め、20歳の時に召集されて陸軍に入隊します。

青年時代の清水氏

Ⅱ. 第二十三振武隊員

清水保三氏は陸軍へ入隊後、宇都宮陸軍飛行学校へ入校し、航空兵としての道を歩み始めます。

1945（昭和20）年2月、千葉県の下志津教導飛行師団にて第二十三振武隊が編成され、12人の隊員の中には清水保三氏の姿もありました。隊員たちは当初、銚子飛行場で訓練をしていましたが、3月になると空襲を避けるために栃木県の壬生飛行場へと移動しました。

第二十三振武隊

Ⅲ. 家族との再会、そして別れ

1945（昭和20）年3月27日に壬生飛行場を出発した清水保三氏は途中、兵庫県の加古川飛行場で家族と束の間の再会を果たします。その後、家族と別れ福岡県の大刀洗飛行場へ、そして翌日には鹿児島県の知覧飛行場へ到着し、出撃までの時を過ごします。

同年4月3日、清水保三氏は第二十三振武隊の仲間とともに、沖縄へ向けて出撃。帰らぬ人となりました。

壬生飛行場を出発する直前の清水氏

関連企画

○職員による企画展示の解説

開催日：令和7年2月22日（土）、3月8日（土）、 3月20日（木・祝）、4月13日（日）
4月29日（火・祝）、5月3日（土・祝）～5月6日（火・休）、5月18日（日）
時　間：午後2時30分より（所要時間：約30分）
定　員：各回20名（先着順）
費　用：無料
申込み：開催日前日の午後5時までに電話、メールまたは直接桶川飛行学校平和祈念館窓口にて申し込み。